



スケソウダラ漁船遭難者 50回忌追悼・法会

9月28日、海難慰霊碑前（B & G艇庫前）で「スケソウダラ漁船遭難者50回忌追悼・法会」（主催：瀬棚町教会）が開催されました。昭和29年1月28日に発生したこの事故は、瀬棚港を目前にしていた6隻のスケソウダラ漁船が本格化した風速40mの暴風雪と10数mの激浪により一瞬にして海底に没し、町民の救助作業もむなしく、乗組員37名全員が死亡するという大惨事となりました。当日は、遺族や来賓のほか一般参列者もたくさん訪れ、遭難者の遺徳を偲びました。



編集後記

ご紹介したとおり、北海道せたなモニターツアーの参加者が来町して、さまざまな産業体験などを行いました。「普段、自分たちが口にしていく物がどのように生産されているのかを知りたい」という気持ちは、農業や漁業が身近な存在にある私たちにとっては、それほど強く感じないものですが、農業や漁業が身近な存在でなく、海外で生産された食材があふれる都会の方々にとっては大変強く感じることもたろうと思います。参加者にとって今回の体験は、大変貴重なものであったと思いますが、私たちにしても、こうした都会の方の意見や感想をしっかりと瀬棚町のまちづくりに活かしていくことが大切です。

この間、遅めの夏期休暇をいただきました。子どもを連れて3日間くらい夕陽が丘公園へ遊びに行きましたが、天気が良くて、たくさん子どもたちが遊んでいました。子どもは体力が有り余っているので全然帰ると言わず、こっちはもうへろへろで…（笑）それでも普段は家にはいないので、たまにこうした機会も大切ですね。（〇）